

「保育環境における突然死を防ぐために V3_2018」

保育中の突然死予防研修推進会から下記プログラムが無料公開中です。
保育睡眠中の SIDS をはじめ突然死に関して学ぶことができる日本で初めてのプログラムです。

(2015 年から、保育環境における睡眠中の突然死予防プログラム普及活動を有志で始めました。睡眠中の突然死予防プログラム・YouTube「睡眠中の突然死」は、個人・職場研修をはじめ様々な形でご活用頂けます。)

2016 年 (V1)、2017 年 (V2) に公開したビデオの更新版です。

ビデオで使用しているスライド原稿は、下記のサイトから無料でダウンロードできます。

- ・睡眠中の突然死予防スライド [【PDF】](#)
- ・睡眠中の突然死予防プレゼンノート [【PDF】](#)
- ・睡眠中の突然死予防配布資料 [【PDF】](#)
- ・動画サイト (約 24 分) [【YouTube】](#)

保育中のこどもの命を守るために、ぜひご活用ください。

プログラム開発、運営組織

開発：伊東和雄 ([有限会社マスターワークス / LSFA 本部](#))

開発協力：中村徳子 ([託児ママ マミーサービス](#))、森 俊英 ([LSFA 乳幼児応急手当普及会](#))

運営：[保育中の突然死予防研修推進会](#)

事務局連絡先：中村徳子：<https://mommy-sids.com/inquiry/>

※ 仁志田博司先生から当プログラムへ推薦のお言葉をいただきましたので、下記にご紹介いたします。

「保育中の突然死予防研修推進会が、お母様方が子育て中に一番心配している乳幼児の睡眠中の突然死を予防するために大切な事柄を具体的に示すプログラムを作りました。
人間の赤ちゃんは他の動物に比べ生理的に早産(未熟)で生まれ、長い間養育者の手で育てられて高い知能を獲得します。ですから、歩き始めるのが一歳以後であり首が据わるのでさえ生後 3 か月経ってからですので、ある意味では最も弱い生き物と言えます。

特に睡眠時は体全体の機能が低下しますので、誰でも起こる睡眠時無呼吸からの回復が

遅れると、乳幼児突然死症候群につながる低酸素状態に陥る可能性があります。言い換えれば、どの乳幼児でも睡眠時はこのようなことが起こることを知って子育て、保育をしなければなりません。

でも毎日の生活の中で、何時も乳幼児に付き添い続けていることはできませんので、このプログラムで学んだポイントに気を付けた子育て、保育をすることが、お母さん方と保育者の安心と乳幼児に安全を提供することになります。

是非、すべての小さな子どもの育児に関わる方々にこのプログラムを見て頂き、自分の子育て、保育に生かすと共に周りの方々に教えて頂けば、元気であった乳幼児が睡眠中に突然亡くなってしまうという悲しい出来事が激減すると確信しています。」

仁志田博司(東京女子医科大学名誉教授)